



砂防講演会7月2日に開催

自然との融合

吉村作治先生を迎えて

今年の砂防講演会は、エジプト考古学者で早稲田大学教授の吉村作治先生を講師に迎え、お山開きの翌日の七月二日に約六〇〇人の市民の参加を得て富士宮市民文化会館大ホールで開かれました。

建設省富士砂防工事事務所、富士宮市、富士市、芝川町が主催するこの講演会は、富士山の防災や環境に関する理解を深めていただくために、平成三年から毎年開催している



ものです。

吉村先生はカイロ大学考古学研究所に留学後、一九六六年から早稲田大学古代エジプト調査隊を組織して数々の遺跡等を発掘し、一九八七年にはクフ王ピラミッド内未知の空間、第二の「太陽の船」を発見しています。

講演は「エジプト文明からみた地球環境」をテーマに、ピラミッドやアブシンベル宮殿、アスワンハイダムなどの貴重なスライドを使いながら分かりやすく進められました。吉村先生は、現代社会において人間が自然の力を過小評価していることへの危惧を提示されるとともに、自然の法則、形、原理に対する理解を深め自然と人が融合してゆくことの大切さなどについて熱く語りられました。

私達は、今回の講演を通して地域の皆様とともに、富士山を含めた環境問題について、あらためて認識を深めることができたと考えています。

なお、講演に先立ち、六月二十日の台風七号により発生した土石流のビデオ上映を行い、土石流の恐ろしさや砂防事業の効果を説明しましたが、参加者からは驚きの声があがっていました。

発 行 省
建 設
富士砂防工事事務所
富士宮市三國平1100
電話(0544)27-5221

土石流発生

大沢崩れ

土石流を止めた砂防設備

土石流発生前



台風7号に伴う雨により発生した
土石流を捕捉した大沢沈砂地工

土石流発生後



今回の土石流の大半は大沢川扇状地内の床固工や沈砂地工などの砂防設備により捕捉されました。測量によると、大沢沈砂地工に約10万 m^3 、その上流第5床固工に約8万 m^3 が堆積するなど約25万 m^3 の土砂が、大沢扇状地内に堆積し、下流域への被害はなく、砂防設備は効果を十分発揮しました。(25万 m^3 はダンプトラック約4万台分です。)

「えっ！土石流があったの…」

台風7号による大雨の時の潤井川

富士宮市狩宿 山崎 たねよ



20日は、朝から台風7号の影響による雨が降っていました。庭先の潤井川の様子を見にいくと、濁流が川一杯に流れていました。

昔は、大雨が降ると上流(大沢崩れ)から、大きな石や土砂がゴロゴロと雷のような音をたて、又家もガタガタとゆれ、民家にまで土砂が押し寄せている様子が、生きた心地がしないような思いをしました。

今回の台風でも12時頃に、「上流では土石流が発生したが、砂防の設備で大量の土石が止まったよ」と後で聞き、今更ながら砂防の役目の大事さを感じた次第です。



大沢扇状地

雨の日には大沢崩れからの土石流が流れる危険な場所であることから、普段は中に入れない広大な扇状地につくった約5キロメートルのコースを、6才から75才までの115人の参加者が富士山や砂防をテーマにしたクイズを解きながら歩きました。家族で参加された方も多く、親子でなかよくクイズに挑戦している様子は、ほほえましく思えました。



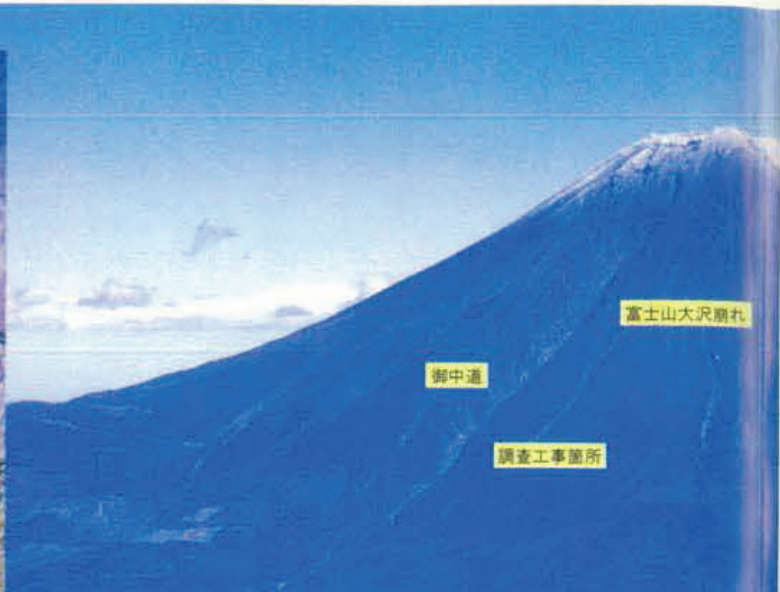
開会式の
参加者



巨石の横で
問題に取り
組む

**台風
7号**

富士山で土



土石流監視カメラが観測

大沢川扇状地上流端岩樋に設置した土石流監視カメラにより、六月二十日十一時三十分から十三時頃までの間に、土石流のピークが九回観測されました。最初の土石流が二十日午前十一時三十三分に段波となって流下し、その後、大小の段波状土石流を繰り返して、十二時五十八分には最大ピーク流量約百二十m³/sを記録しました。

また、今回の土石流で流れ出した土砂量は、約二十五万m³と推定され、平成三年十一月に発生したスラッシュ雪崩による流出土砂約十八万m³を大きく上回っています。

「ミス富士山」 遠藤留理子さんが 1日砂防所長

土砂災害防止のPRに奮闘



街頭キャンペーンを行う一日所長

自然環境に配慮した、建設資材輸送方法の富士ハートシステムに試乗しました。その後、セイフー富士宮店前で土砂災害防止月間の街頭キャンペーンにと短時間の中で多くの任務をこなしていただきました。

建設省、静岡県及び二市一町では、雨の多い梅雨時期に土砂災害に対して様々な啓蒙活動を展開してきました。

土砂災害防止月間(六月)期間中の六月十八日に、九六年度ミ



現場視察する一日所長

クイズウォーク開催!

9月13日(土)

クイズウォークに参加して...

・ただ歩くよりも、何かクイズややる事であった方が楽しく歩く事ができたので良かった。風景も迫力があってすばらしかった。(11才)

・富士山の近くに住んでいるのに、あまり富士山のことを知りませんでした。今回このようなクイズウォークに参加し、とてもよかったです。(クイズ+ウォークが楽しかったです)家に帰って子供達と“ふじさんとなかよし”をじっくり読みたいと思います。(37才)



うーん むずかしいー



「富士山と気象」の講師 片山安三夫先生



あったあった問題が

郵便はがき

料金受取人払

富士宮局
承認

41

差出有効期間
平成10年9月
30日まで

切手をはらずに
お出し下さい

4 1 8

静岡県富士宮市

三園平1100

建設省 中部地方建設局

富士砂防工事事務所

建設専門官 行

砂防だより読者の皆様から寄せられた ご質問にお答えします。

ご質問ご意見をお寄せいただきありがとうございました。



問：「砂防」の意味について知りたいのですが…

砂防の語源は明治政府の通達（明治4年）での「土砂溢漏防止」の用語が用いられ、その中の2字をとって「砂防」の言葉が生れたと言われています。

つまり「土砂の氾濫を防ぐ」という意味です。

土砂災害を防ぐ技術が最も進んでいるのが日本であり世界各国から技術協力が求められ、そのため「SABO」という言葉がそのまま世界で使われています。



栗の木第2砂防ダム

問：子供の手も離れたので、これからは、砂防施設などの見学会に参加したいと思いますが…

大沢崩れ荒廃状況を目にさせていただき自然の驚異と砂防事業についての理解を深めていただくため一般公募で年4回の御中道見学会を実施しています。そのほか大沢扇状地内でクイズを解きながら歩いてもらうクイズウォークも実施しておりますので、多数の応募をお待ちしています。



御中道見学会

広報紙読者の声お便り募集

(1)富士山、大沢崩れ等、富士砂防が実施している事業について御意見などをお聞かせ下さい。

(2)「富士砂防だより」について紙面づくりのアイデアなどお聞かせ下さい。

(3)その他、お気づきの点、御質問などありましたらお聞かせ下さい。

※差しつかえなければ御記入下さい。

住 所	〒			
氏 名		年齢		性別
職 業 (学校名)				

ご協力ありがとうございました

問：富士砂防工事事務所はどこにありますか？

住所：富士宮市三園平 1100 番地
セイフー富士宮店の西側高い鉄塔が目印です。
気軽に事務所を訪問して下さい。



事務所全景

問：目にする機会の少ない
岩樋中流部の写真を
お願いします。

土石流によって厚い溶岩が削りとられ、水を流す「樋」のようになっています。



富士山をさらに知りたい 大沢崩れをもっと勉強したい

小・中・高等学校、家庭学級、公民館の社会学習、地域サークルなど地域の方々の熱心な取組を受けて、当事務所は大沢崩れの荒廃した現状や富士山の豊かな自然にふれる御中道見学会、砂防施設の働きや土石流の実態を見る施設見学会や学習会を開いています。今後も出来るだけこたえていきたいと思いますので、ご相談してください。



H9.6.10
大富士小学校
5年生152名
学習会
「富士と地域
を守るために」



H9.7.29
第6次中国
技術研修団
13名
富士HEART
システム見学



H9.8.8
柚野
母親クラブ
親子39名
富士HEART
システム見学



H9.8.26
富丘公民館
女性講座
47名
砂防施設見学

見学会に参加して… H9.8.21 富丘小学校家庭教育学級「富士HEARTシステム」試乗の感想

とにかく暑かった。急傾斜26度の坂を下る時スキーのジャンプ台の上から見るとこんなかも…。この山に道路をつくるとなると、時間も要する面積も、環境破壊も多大になるにちがいないと思いました。弓沢川での試験が成功し、早く大沢崩れ源頭部など多くの場所で活躍するようになるといいですね。

望月真理子さん

監視カメラによる大量の土石流の様子は、想像をはるかに超えたものでした。今回の扇状地見学で、砂防工事の重要性を痛切に感じ、今後も土石流が最小に止まってくれることを願ってやみません。

娘は大沢1号に乗れたことがとても印象に残っているようです。普段体験することのできない大変、貴重な体験を、親子でさせて戴き、有り難うございました。

芝田加代子さん

私と娘は、娘の学校用事の都合で、半日の参加でしたが、初めての体験をさせて頂き、嬉しかったです。それは『富士HEARTシステム』トロッコの様な機関車の様な乗り物です。自然にやさしく、環境を最大限に考えての建設資材運搬車。26度の坂を登って行く時の恐さたまらなかったです。

塩川和子さん

～ 富士山への手紙・絵コンクールにたくさんの応募ありがとうございました ～

7月1日～9月15日まで募集したところ、4800点を超える応募をいただきました。12月7日(日)に富士宮市民文化会館大ホールにて表彰式を行います。

当日は審査委員長の村松友視先生(小説家)を迎え、講評と講演を予定しておりますので、市民の方の多数の参加をお願いします。

情報
提供
の
お願い

●貴重な写真、資料等お持ちの方、また災害体験を有している方の情報提供をお願い致します。

(連絡先)

富士砂防工事事務所

(建設専門官 奥田譲又は、調査課長 山田耕一郎まで)

TEL0544(27)5221 (内線516又は351)

■建設省富士砂防工事事務所

〒418 富士宮市三國平1100 TEL 0544(27)5221

■富士宮砂防出張所

〒418-01 富士宮市上井出826-1 TEL 0544(54)0236

インターネット

<http://www2.shizuokanet.or.jp/fujisabo/>